



教育は
未来へつなぐ
希望の輪

2025年7月9日（水）
愛知県教育委員会高等学校教育課
進路指導グループ
担 当 坂部、櫻井
内 線 3896、3916
ダイヤルイン 052-954-6786

愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和7年度第2回） の開催について

愛知県教育委員会は、1963年に教育長からの諮問により入学者選抜方法に関する事項について研究協議を行う機関として、愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会を設置しました。以降、この協議会は、入学者選抜方法の改善に大きな役割を果たしています。

この度、2025年5月21日（水）に開催した第1回協議会議に続き、下記のとおり本年度第2回の協議会議を開催しますので、お知らせします。

なお、協議会議の結果は、会議当日午後3時頃に資料配布します。

記

1 日時

2025年7月23日（水）午前10時から午前11時30分まで

2 会場

愛知県庁本庁舎 6階 正庁
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

3 委員

26名（裏面「委員名簿」のとおり）

4 議題

愛知県公立高等学校入学者選抜方法について

〔諮問事項〕

調査書情報の登録事項について

外国人生徒等にかかる入学者選抜の定員枠について

令和7年度愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議
委員 名簿(順不同・敬称略)

◎ 愛知教育大学教育学部数学教育講座名誉教授	飯島 康之
○ 日本福祉大学国際学部国際学科教授	米津 明彦
愛知教育大学教育学部情報教育講座教授	梅田 恭子
愛知教育大学教育学部学校教育講座准教授	高綱 睦美
名古屋大学教育連携基盤本部特任准教授	橘 春菜
名工学園理事長	林 文敏
トヨタ自動車株式会社人事部技能系人事室 採用グループ長	後藤 幸治
名古屋銀行人材開発部人事グループ係長	伊藤 奈々代
愛知県地域婦人団体連絡協議会副会長	鈴木 木みどり
愛知県公立高等学校PTA連合会長	鳥居 春美
愛知県小中学校PTA連絡協議会長	市岡 重人
名古屋市教育委員会教育長	すぎ杉 浦弘昌
あま市教育委員会教育長	伊藤 克仁
田原市教育委員会教育長	伊藤 正徳
愛知県立明和高等学校長	くり栗 木晴久
愛知県立岡崎高等学校長	やま山 脇正成
名古屋市立向陽高等学校長	あき秋 田直孝
愛知県立新城有教館高等学校長	まき牧 野美和
長久手市立北小学校長	か加 藤ひろ也
名古屋市立富士中学校長	やま山 村のぶ人
武豊町立武豊中学校長	すぎ鈴木 木かずひさ久
幸田町立幸田中学校長	やま山 中つよし剛
愛知県立豊田南高等学校教諭	ほり堀 直よ予
名古屋市立工芸高等学校教諭	か加 藤つかさ司
東海市立名和小学校教諭	はやし林 泰ひろ弘
名古屋市立植田北小学校教諭	もり森 義ひろ裕

◎は議長、○は副議長

愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和7年度第2回）について

1 協議について

5月21日（水）に開催された愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和7年度第1回）において、教育長から飯島議長に諮問を行った。今回、諮問事項について、専門員会のまとめに基づいて協議が行われる。

2 諮問事項について

本年度の諮問事項は次のとおりである。

諮問事項1

調査書情報の登録事項について

○ 諮問理由

近年、中学校における不登校生徒数が、過去最高を更新し続けていることや、別室登校や教育支援センター等での学習に加えて、自宅でのICT等を活用して行った学習活動も生徒指導要録上は出席扱いとできるようになるなど、学ぶ場についての考え方が変化していることに伴って、出席についての考え方も変化している。

こうした学びの場の多様化に伴い、学校外で学ぶ生徒もいることから、中学校生徒指導要録に基づいた中学校での学校生活において認められる志願者の行動についても、中学校が評価することの難しさが生じている。

また、文部科学省の「高等学校入学者選抜等における配慮等について（通知）」（令和6年6月25日付け文科初第779号）においても、今後の調査書の検討に当たっては、入学者選抜の実施に真に必要な事項に見直しを図るよう求めている。

このような状況にあることから、「調査書情報」の登録事項が適切なものとなっているかについて、改めて協議する必要がある。

諮問事項2

外国人生徒等にかかる入学者選抜の定員枠について

○ 諮問理由

本県では、外国籍を持ち、日本の小学校の第4学年以上の学年に編入学した者又は入国後6年以内の者を対象として、日本語の読解が不十分であることに配慮し、国語、数学及び外国語（英語）の基礎的な内容で問題の漢字にルビを付した学力検査並びに個人面接による「外国人生徒等にかかる入学者選抜」（以下、「外国人生徒等選抜」という。）を実施している。この選抜は、2002（平成14）年度入学者選抜から、全日制課程において県立小牧高等学校、県立衣台高等学校、県立豊橋西高等学校の3校で開始し、外国人が多く居住する地域やそうした地域から通学しやすい場所にある高等学校を中心に実施校を増やし、現在は、普通科6校、工業科2校、商業科1校、総合学科3校において実施している。

定員枠については、2002（平成14）年度選抜開始時には、「若干名」とした。2019（令和元）年4月に改正出入国管理法が施行され、在留外国人の増加に伴い、その子女である外国人生徒等も増加することが予想されたため、同選抜におけるそれまでの合格実績なども考慮し、外国人生徒等が出願しやすいよう、2020（令和2）年度入学者選抜から、現行の「募集人員の5%程度まで」とした。

その後も、本県が日本最大の製造業地域であることから、在留外国人の増加に伴い「外国人生徒等選抜」の志願者は年々増加している。

このような状況にあることから、「外国人生徒等選抜」の定員枠について、改めて協議する必要がある。

調 査 書 情 報

志 願 者	ふりがな				選抜種別					
	氏名				第一志望校	学校名				
	生年月日					学科				
	性別					課程				
出身学校	学校名				第二志望校	受検番号				
	卒業（見込） 年月					学校名				
	クラス番号		出席番号			学科				
就学中の異動 ・ 卒業後の経歴						課程				
						受検番号				
学習の記録（第3学年）										
教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 ・ 家庭	外国語	評価合計
評価										
行動の記録			総合的な学習の時間の記録							
基本的な生活習慣										
健康・体力の向上										
自主・自律										
責任感										
創意工夫										
思いやり・協力			総合所見及び指導上参考となる諸事項							
生命尊重・自然愛護										
勤労・奉仕										
公正・公平										
公共心・公德心										
出欠の記録						その他の特記事項				
学年	欠席日数	欠席の主な理由								
2年										
3年										
登録日		承認日		記載責任者氏名						